

編集後記

この号の特集テーマは「下肢装具」である。約25年前の何もない時期と比較すると、何から何まで格段の進歩を為し遂げたこの分野には、いつも何か面白いトピックがある。さらに疾患も病態が変化し、石神氏が引用している Deaver の本もいま読みかえてみると正に古典という感じがする。

岡島氏は脳性麻痺の抑制下肢装具について述べている。実例も含め大変面白い。症例数と追跡調査期間を増した再度の報告を期待する。

石神氏らの片麻痺患者の装具処方に関する論文は、読んでいると氏の声が聞こえてくるような感じがする。臨床的に多くを学ぶことができる。

島津らの論文は多発する膝靱帯損傷に対する装具に関するものである。靱帯損傷治療の中の1つの手段としての装具の位置を

明らかにし、さらに装具が全体のファッションの1つとして考えねばならないなど、示唆されることが多い。

長屋氏らのプラスチック装具の破損に関する論文は私も一枚噛んでおり多言は避けたい。しかしプラスチック装具に多くの利点があるにもかかわらず破損するとこれほど工合の悪いものはない。より耐性の大きい形状で解決できることを願っている。

山崎氏の靴に関する一連の研究はいずれも興味深い。リング式足型外郭形状計測機は不勉強な私には、はじめてであり、もっと詳しく調べてみたい。

他に木佐氏らの感覚統合に関するもの、六鹿氏らの片麻痺の装具に関するものに加え、二編の講座等、例によって盛り沢山で、実りの大きい10月号となった。

著者の諸氏に心から感謝したい。

(明石 謙)

編集顧問

天児 民和
大島 良雄
河邨 文一郎
五味 重春
津山 直一
土屋 弘吉

編集委員

明石 謙
上田 敏
緒方 甫
大井 淑雄
大川 嗣雄
千野 直一
横山 巖

編集同人

赤津 隆
今田 拓
今村 哲夫
岩倉 博光
江口 壽榮夫
小川 孟
荻島 秀男
奥川 幸子
加倉井 周一
小島 蓉子
斉藤 正也
笹沼 澄子
澤村 誠志
高橋 勇吉
高松 鶴吉
武智 秀夫
土屋 和夫
土肥 豊
永井 昌夫
中村 隆一
野島 元雄
野村 歆
長谷川 恒雄
初山 泰弘
福井 圀彦
松村 秩
三島 博信
矢谷 令子
米本 恭三
渡辺 英夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第16巻 第10号)

1988年10月10日発行 (毎月1回10日発行)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

1部定価 1,750円 (配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 19,560円)
(送料弊社負担)

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1988, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。